

えなければならない。

2. 前項の許可には、集団の無秩序又は暴力行為に対し、公衆を保護するため必要と認める条件を附することができる。

3 公安委員会は、第1項の規定による許可を与えないときは、その理由をすみやかに県の議会に報告しなければならない。

4 第2条の申請書を受理した公安委員会が、その運動開始の24時間前までに条件を附し又は許可を与えない旨の意志を表示しないときは、許可のあったものとして行動することができる。

第5条 次の各号の一に該当する者は、1年以下の徴役又は5万円以下の罰金に処する。

一 第1条第1項の規定に違反した者

二 第3条の許可申請に虚偽の事項を記載した者

三 第4条第2項の規定により公安委員会の附した条件に違反した者

第6条 この条例は、行列行進又は示威運動以外の公の集合を禁止し若しくは制限し、又は政治運動、プラカード、出版物、その他の文書、図書等の監督検閲の権限を公安委員会、警察官その他の公務員に与えるものと解釈してはならない。

第7条 この条例は選挙に関する法令に何等の影響を及ぼそうとするものではなく、又選挙運動中の政治的集会又は演説に関し事前の届出を必要ならしめようとするものではない。

第8条 この条例を施行するため必要な事項は、公安委員会がこれを定める。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

注(1) 地方公共団体がその管理する事務に関し法令の範囲内でその議会の議決によって制定する法。〔これとは別に、都道府県知事・市町村長がその権限に属する事務に関して制定する法を規則といい、条例と規則とを総称して例規とすることがある。〕

注(2) 民主主義と地方分権の原則に基づき警察の民主的な運営を管理するため、昭和22年の警察法が初めて設けた機関。公安委員は国及び都道府県の首長がそれぞれの議会の同意を得て民間人を任命する。

資料 宮城県例規第5巻

## 48. 戦前の宮城県民歌

問 戦前に唱われた宮城県民歌の歌詞を知りたいので、M図書館に頼んで調べてもらいましたが、遂にわかりませんでした。どうか教えてください。

答 宮城県民歌は、河北新報社が昭和13年9月16日1万5千号を発行したので、その記念事業の一つとして、宮城県教育会と共同主催で公募したものです。10月31日締切までの応募作品1,527点、土井晩翠を委員長とする30余名の審査委員会が慎重審査の結果、高松茂夫〔26才、桃生郡鹿股村字新田町浦4、昭和7年宮城県師範学校卒、病休中〕の作品を一等当選と決定し、11月29日付の河北新報で発表しました。作曲を東京音楽学校に依頼し、翌14年1月末完成をみたので、2月5日午後1時30分から、仙台市公会堂〔西公園内〕で、河北新報社・宮城県教育会・宮城県・仙台市の四者共催、仙台音楽協会・仙台中央放送局後援で盛大な発表会が行われました。当日は、仙台市内吹奏楽聯合合奏団・仙台市内小学校児童聯合合唱団・宮城県教員聯合合唱団・仙台市内女学校聯合合唱団・仙台市内各種団体聯合合唱団・同聯合管弦楽団・武田愛子・海鉾義美・黒沼幸四郎等の総参加で、当時の仙台市として珍らしいほど大がかりなものでした。

#### 宮 城 県 民 歌

1. 東北の 真先をかけて  
起たん哉 我等  
見よ白銀の 蔵王は呼びて  
茜雲 希望に燃ゆる  
ああ奮へ 老いも若きも  
ああ奮へ 宮城県民
2. 敢然と 大地を蹴りて  
起たん哉 我等  
見よ藩祖公 不滅の勲  
鵬翼は 万里を翔くる  
ああ奮へ 力の限り  
ああ奮へ 宮城県民
3. 奮然と 拳固めて  
起たん哉 我等  
見よ松島は 朝日に映えて  
清らにも 輝く緑  
ああ奮へ 高き希望に  
ああ奮へ 宮城県民
4. 百万の 心一つに  
起たん哉 我等

見よ伝統の 燦たる文化

青葉城 歴史に薫る

ああ奮へ 熱き血汐に

ああ奮へ 宮城県民

なお、このほか河北新報社では、昭和6年1月17日の創刊35周年記念に「仙台市民歌」、昭和11年7月17日創立40周年記念に「東北振興歌」など、昭和41年4月15日の2万5千号記念に「東北の歌」の歌詞の懸賞募集を行っています。<sup>(1)</sup><sup>(2)</sup>

<sup>(3)</sup>

注(1) 佐々木青作詞

1. 青葉山雲湧くところ

東奥〔とうおう〕の覇権は成りて

栄光と威武の大旆〔たいはい〕

高かりき五城楼

2. 広瀬川霧晴れ行けば

北方の春はめざめて

産業と文化の都会〔みやこ〕

基なりぬ仙台市

3. 三百の春秋〔はるあき〕去りて

山河の色は移らず

伝統の血潮高くも

脈搏〔う〕つよ我が胸に

4. 光明の時代ぞ今は

空青く望遥けし

新しき鵬翼ならせ

高らかに朗らかに

〔堀内敬三作曲〕原本は当館所蔵

「仙台市昭和6年事務報告書並財産表」に次の記事がある。

『10月9日 一、河北新報社ヨリ同社選ニ係ル仙台市民歌ノ寄贈アリタリ

11月14日 一、午後一時三十分ヨリ公会堂ニ於テ市民歌発表会ヲ開催シタリ』

注(2) 渋谷 進作詞

1. とざす雲なんぞ

燃え上がるものわれら

愛と光の炬〔ひ〕をふりかざし

おお……

力の限り振り興せ  
大東北の花咲く郷土を

2. ほゆる嵐なんぞ  
つき進むものわれら  
勢と気迫の火花をあげて  
おお……

血潮の限り振り興せ  
大東北の花咲く郷土を

3. 狂う雪なんぞ  
日にうたうものわれら  
汗とまことの矜持〔きょうじ〕をかけて  
おお……

いのちの限り振り興せ  
大東北の花咲く郷土を

注(3) 第1部 東北開発の歌「われらのちから」 斎 光雄作詞、サトウ・ハチロー補作

1. みちのくは われらのふるさと  
みどり濃き くにはうるわし  
このくにを たがやして肥やすもの  
更に 更に 肥やすもの  
われらの われらの  
ちからぞ ちからぞ

2. みちのくは われらの父母  
うみやまの 幸をたまえり  
この幸を うけつぎて富ますもの  
高く 高く 富ますもの  
われらの われらの  
ちからぞ ちからぞ

〔吉田 正作曲〕

第2部 東北音頭 小田島 憲作詞、サトウ・ハチロー補作

1. 君とボクとは 東北好きよ  
生まれて 育った 土地じゃもの ソレまあだまだ  
先祖の汗っこ にじんでしみて  
おふくろみたいな 顔がある

東北六県 ジャンケンポンよ

ジャンケンポンは アイコでセッセ

2. 見ても聞いても たのしいものは  
あの山 この川 雲の色 ソレまあだまだ  
のぼって泳いで あばれた仲間  
こけしみたいに めんこいぞ

東北六県 ジャンケンポンよ

ジャンケンポンは アイコでセッセ

3. 梅もさくらも いっしょに咲いて  
春は一度に やってくる ソレまあだまだ  
秋は 空気や水まで澄んで  
リンゴみたいな 味がする

東北六県 ジャンケンポンよ

4. あちら こちらに 出湯がわいて  
肩をならべて 二人づれ ソレまあだまだ  
ズッパリつかれば じゃんがらぶしや  
さんさ時雨や おぼこ節

東北六県 ジャンケンポンよ

5. 雪っこ こんこん 五日に十日  
つもりつもれば 又うれし ソレまあだまだ  
鍋にちらつく 炎の唄に  
手拍子あわせりゃ 夜が更ける

東北六県 ジャンケンポンよ

ジャンケンポンは アイコでセッセ

(吉田 正作曲)

資料 昭和13年11月29日付河北新報

宮城県教育百年史第2巻(宮城県教育委員会)

〔「河北新報社小史」・「河北新報の七十年」(河北新報社)の記事中の当該個所に、戦後の県民歌「輝く郷土」(遠山徳男作詞)が誤まって入っている。〕

『宮城県民歌』〔輝く郷土〕

1. 平和の春のあけぼのに さきがけ進む輝きの  
力あふるるわが宮城 ここにうるわし人の和の  
誠はむすぶ郷土愛

2. 仙台平野名も高く たがやす土は黒々と  
みのり豊けきわが宮城 とはいみじきこの山河  
たたへてともに育くまん
3. はかり知られぬ海の幸 つきぬ宝の山の幸  
めぐみあまねきわが宮城 ここに働く喜びに  
興る産業新文化
4. 新日本の建設に 忍苦の道をきりひらく  
意気新たなるわが宮城 めざす理想のふるさとを  
われらこぞりて打ち建てん」]

## 49. 花旗とは何か

問 『風帆一道向花旗』の花旗とは何ですか。

答 これは、仙台の玉虫左太夫が、安政7年〔1860、3月3日桜田門外の変が起きたことにより3月18日万延と改元〕1月、米国視察に出発するにあたり、大槻磐溪らへ残した別離の詩「<sup>(1)</sup>遑々人生ト安危。許国此身無二思。<sup>(2)</sup>万里鯨涛坦如砥。風帆一道向花旗。」の結句です。この漢詩では、花旗は<sup>(3)</sup>アメリカ合衆国のことを指しています。玉虫左太夫は、この旅行の見聞記「航米日録」の中で『花旗国総説……花旗国ハ<海国図志云、因船挿星旗広東人謂之花旗>北亞米利加洲ニアリテ一<sup>(4)</sup>名米利堅国ト云、又「ウエナイトステート」ト云フ、合衆国ト云義ナリ』と説明しています。もと、花旗とは、中国広東人の目に、米国の星条旗が、花をデザインしたものに映じたので、その旗を花旗と呼んだことに始まります。文献始出は「海国図志」（魏源）で、『<sup>(5)</sup>因船挿星旗広東人謂之花旗』とあります。この書は、わが国に伝わって非常に多く読まれているので、花旗の語は、幕末・明治初年の志士や文化人の間で、よく詩文に用いられました。

注(1) 諱は誼茂〔やすしげ。「仙台人名大辞書」「仙台叢書」別巻第6の内の「航米日録」解題等に茂誼とあるのは誤。〕、字は子発、通称勇八、後に左太夫と改めた。拙齋また東海と号した。文政6年〔1823〕仙台北五番丁に生れ、幼少の時から文武両道にすぐれていた。玉虫家は代々新陰正田流の槍術で「槍の玉虫家」といわれていた。24才の時、江戸に出て大学頭林復斎に学びその学力を認められた。安政の初め、伊達家の家臣で江戸で修学する者の監督を命ぜられた。富田鉄之助・横尾東作・木村信卿等の英才も玉虫の指導を受けた。安政7年〔1860〕1月18日、幕府使節新見豊前守が条約調印のため渡米した時、その一